

決算説明資料

FY2025-1Q

(2024年10月 - 2024年12月)



2025年2月13日

株式会社スプリックス (東証スタンダード 7030)

FY2025 - 1Q決算説明

SPRIX

1. 会社概要
2. FY2025-1Q業績
3. 参考資料

1. 会社概要

SPRIX

MISSIONとVISION

MISSION

「教育」を通して、世界中の人に
「人生の新たなステージ(春)」を届ける。

VISION

「教育」でNo.1へ。

企業概要

会社名	株式会社スプリックス
設立	1997年1月
代表者	代表取締役社長 常石 博之
所在地	東京本部 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー22F 長岡本社 新潟県長岡市東坂之上町2-2-1
資本金	1,444万円(2024年9月末)
事業内容	学習塾および教育関連事業
連結従業員数	1,475人(2024年12月末)
上場市場	東証スタンダード
決算月	9月

教育でNo.1へ
SPRIX

事業概要(事業セグメント)

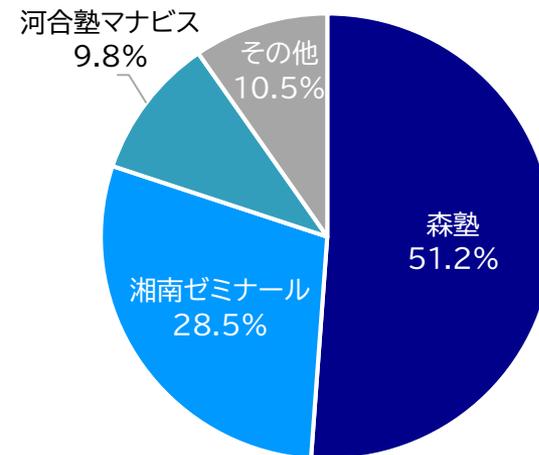
森塾	小・中・高校生を対象とした、先生1人に生徒2人までの個別指導型の学習塾 中学生を対象に成績保証制度を導入	
湘南ゼミナール	小・中・高校生を対象とした集団指導型の進学塾 発祥である神奈川県を中心に展開	
河合塾マナビス	現役高校生を対象に映像授業と対人サポートを組み合わせた大学進学塾 フランチャイジーとして事業を展開	

その他(教育関連サービス)

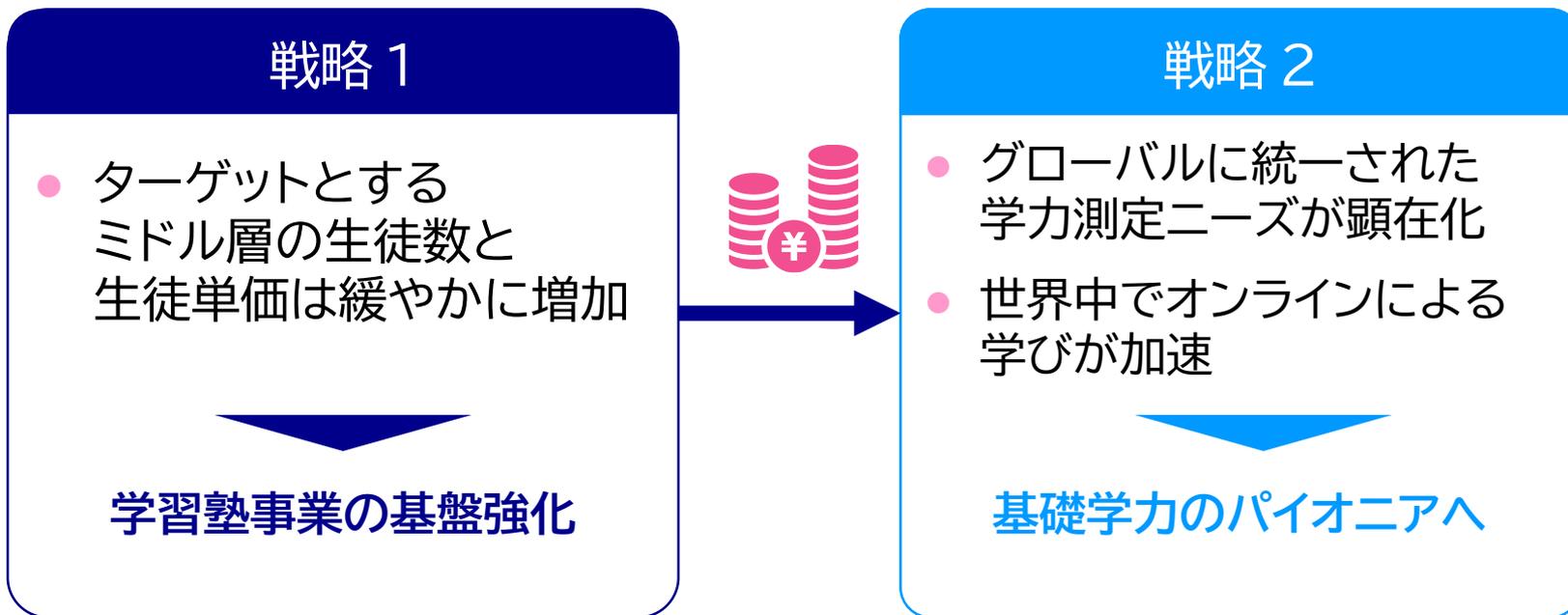
自立学習RED	小・中・高校生を対象に教育ITを活用し生徒の 進度にあわせた学習プログラムを提供	
そら塾	小・中・高校生を対象とした先生1人に 生徒2人までのオンライン型個別指導塾	
テキスト販売等	「フォレスト」シリーズ、 「フォレストデータベース」の販売	
東京ダンスヴィレッジ	社会人を対象としたダンススクールの運営	
基礎学力事業	国際基礎学力検定「TOFAS」の開発・運営・販売、 AIタブレットで基礎学力を養成する「DOJO」	
その他	プログラミング学習サービス「QUREO」の 開発・販売、「プログラミング能力検定」の 開発・運営・販売 等	

事業セグメント別売上高構成比

(2024年9月期・連結)



安定した伸びの学習塾事業の収益を
急速に拡大する基礎学力事業の投資へ



基礎学力事業へFY2023-2025に集中投資

2. FY2025-1Q業績

SPRIX

FY2025-1Q- (2024年10月-2024年12月) - 決算概要

- 売上高 : スプリックス単体は、森塾の生徒数の堅調推移により売上高は増加
(株)湘南ゼミナールは、湘南ゼミナールの小学生コンテンツ拡充等による生徒一人当たりの単価アップと河合塾マナビスの生徒数改善等の影響により売上高は増加
- 営業利益 : スプリックス、湘南ゼミナール共に売上高の増加に加え、計画通りの支出計上により営業利益は増加

(単位:百万円)	FY2024 1Q (実績)	FY2025 1Q (実績)	増減金額 (増減率、%)	要因
売上高	8,183	8,707	+523 (+6.4%)	<ul style="list-style-type: none"> • スプリックス単体は、森塾の生徒数の堅調推移により売上高は増加 • (株)湘南ゼミナールは、湘南ゼミナールの小学生コンテンツ拡充等による生徒一人当たりの単価アップと河合塾マナビスの生徒数改善等の影響により売上高は増加 • スプリックス、湘南ゼミナール共に売上高の増加に加え、計画通りの支出計上により営業利益は増加
営業利益 (利益率、%)	1,061 (13.0%)	1,171 (13.5%)	+110 (10.4%)	
EBITDA (利益率、%)	1,362 (16.6%)	1,404 (16.1%)	+42 (3.1%)	
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	652 (8.0%)	730 (8.4%)	+77 (11.9%)	

FY2025-1Q- 期初予想に対する進捗状況

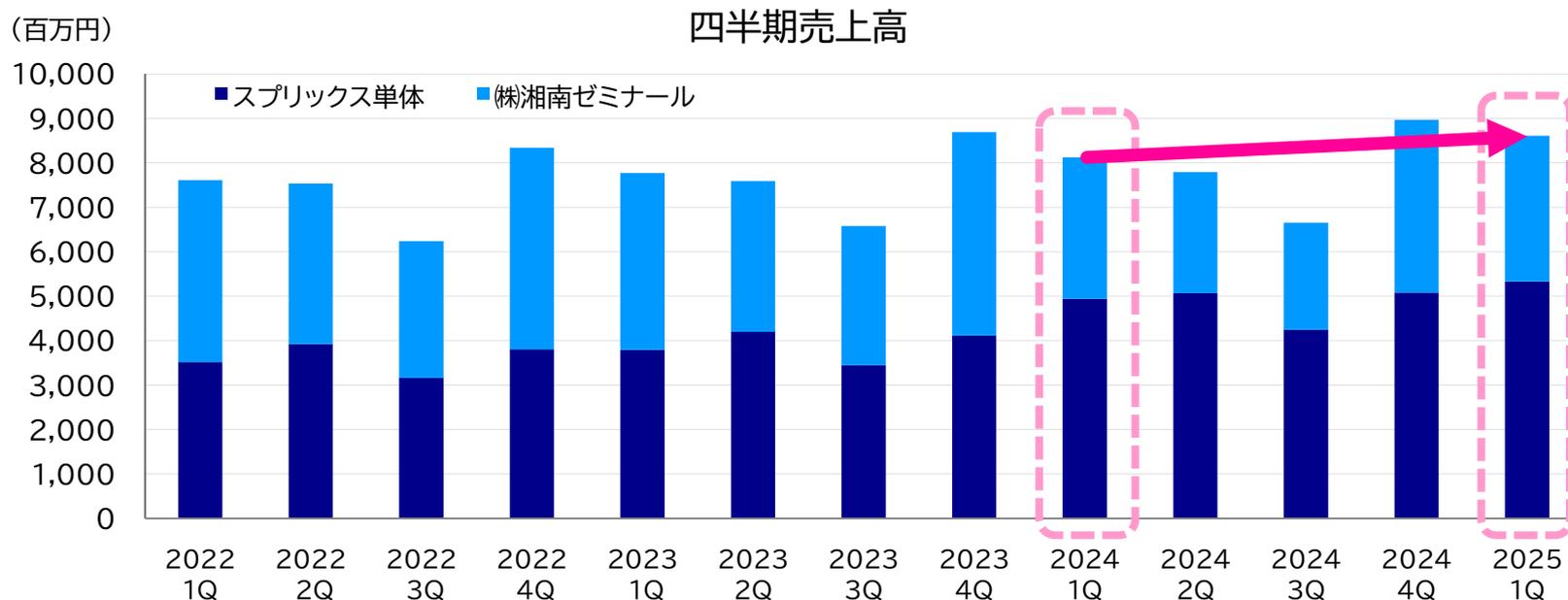
- 各進捗状況は計画比プラスで推移
- 営業利益進捗率については季節性があり、業績は1Q(10月-12月)と4Q(7-9月)が牽引する傾向
- 通期業績予想は据え置き

(単位:百万円)	FY2025 (予想)	FY2025 1Q (実績)	進捗率 (%)
売上高	34,000	8,707	25.6%
営業利益 (利益率、%)	1,600 (4.7%)	1,171 (13.5%)	73.2%
EBITDA (利益率、%)	2,800 (8.2%)	1,404 (16.1%)	50.2%
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	850 (2.5%)	730 (8.4%)	85.9%

(注)・連結予想は2024年11月12日に開示したのになります

FY2025-1Q- 売上高の分析(四半期ごとの推移)

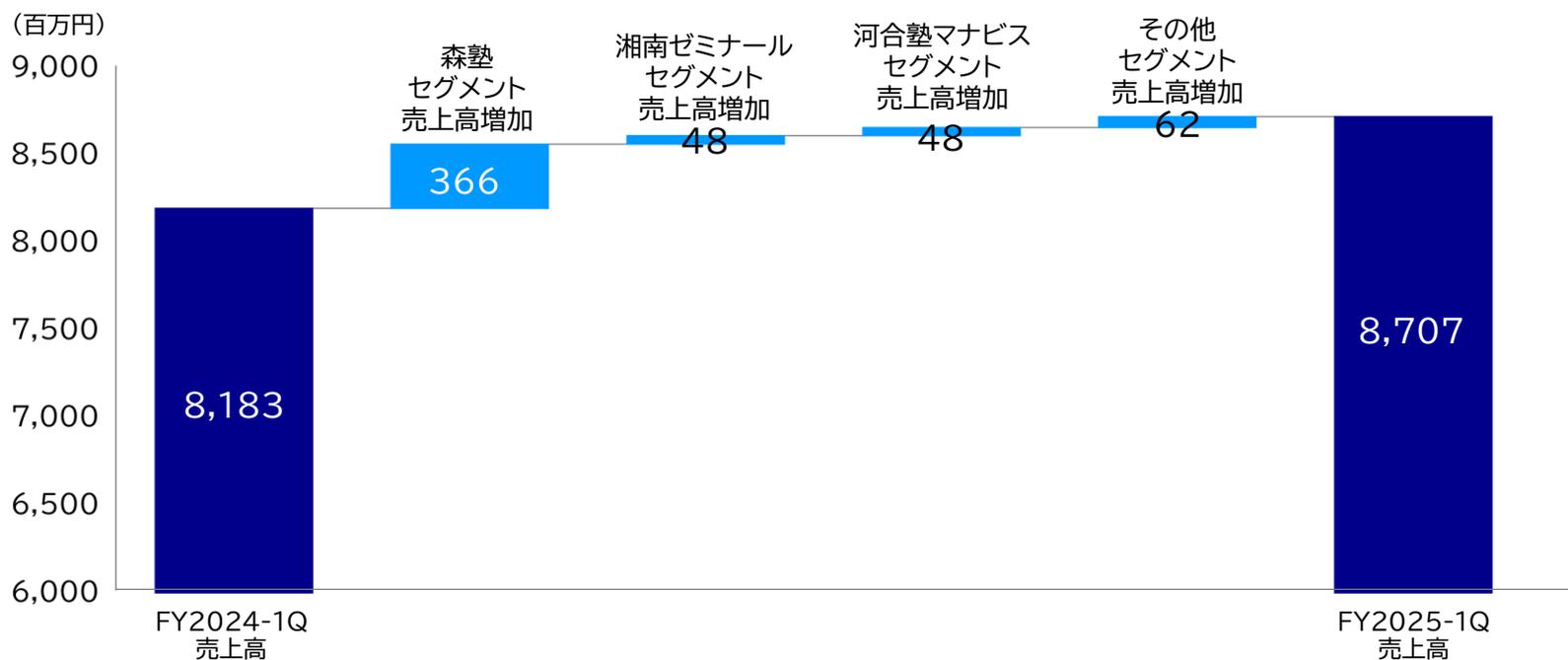
- スプリックス単体は、森塾の生徒数の堅調推移により売上高は増加
- (株)湘南ゼミナールは、湘南ゼミナールの小学生コンテンツ拡充等による生徒一人当たりの単価アップと河合塾マナビスの生徒数改善等の影響により売上高は増加



(注)・スプリックス単体と(株)湘南ゼミナールの営業成績を表す連結相殺前の数値。合計値は連結売上高とは相違
・(株)湘南ゼミナールは2021 2Qより連結対象会社へ
・2024 1Qから、(株)湘南ゼミナール運営の森塾は、スプリックスが継承

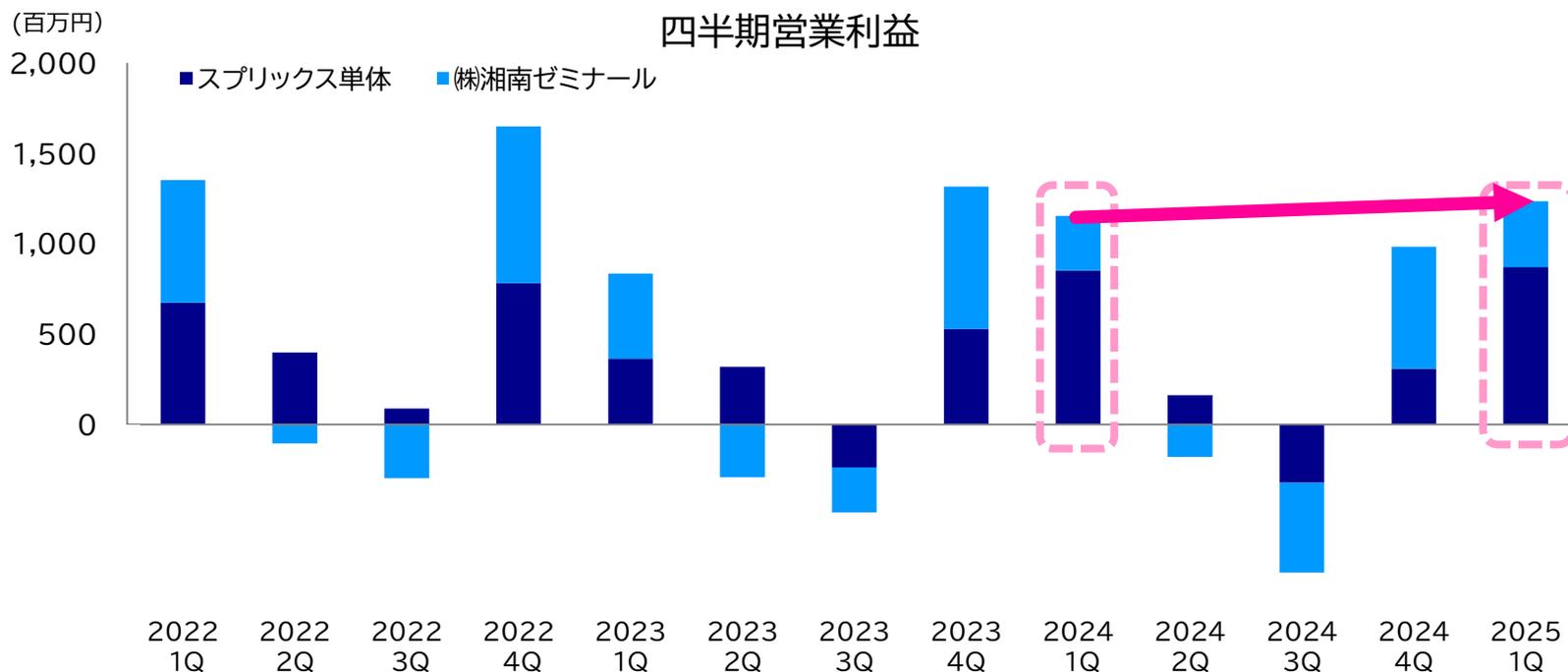
FY2025-1Q- 売上高の差異分析(前年同期比)

- 森塾セグメントは、生徒数の堅調推移により売上高は増加
- 湘南ゼミナールセグメントは、小学生コンテンツ拡充等による生徒一人当たりの単価アップの影響により売上高は増加
- 河合塾マナビスセグメントは、KPI管理およびオペレーションの徹底強化により、全学年の生徒数が増加し、売上高が増加
- その他セグメントは、そら塾事業、東京ダンスヴィレッジ事業を中心に売上高は増加



FY2025-1Q- 営業利益の分析(四半期ごとの推移)

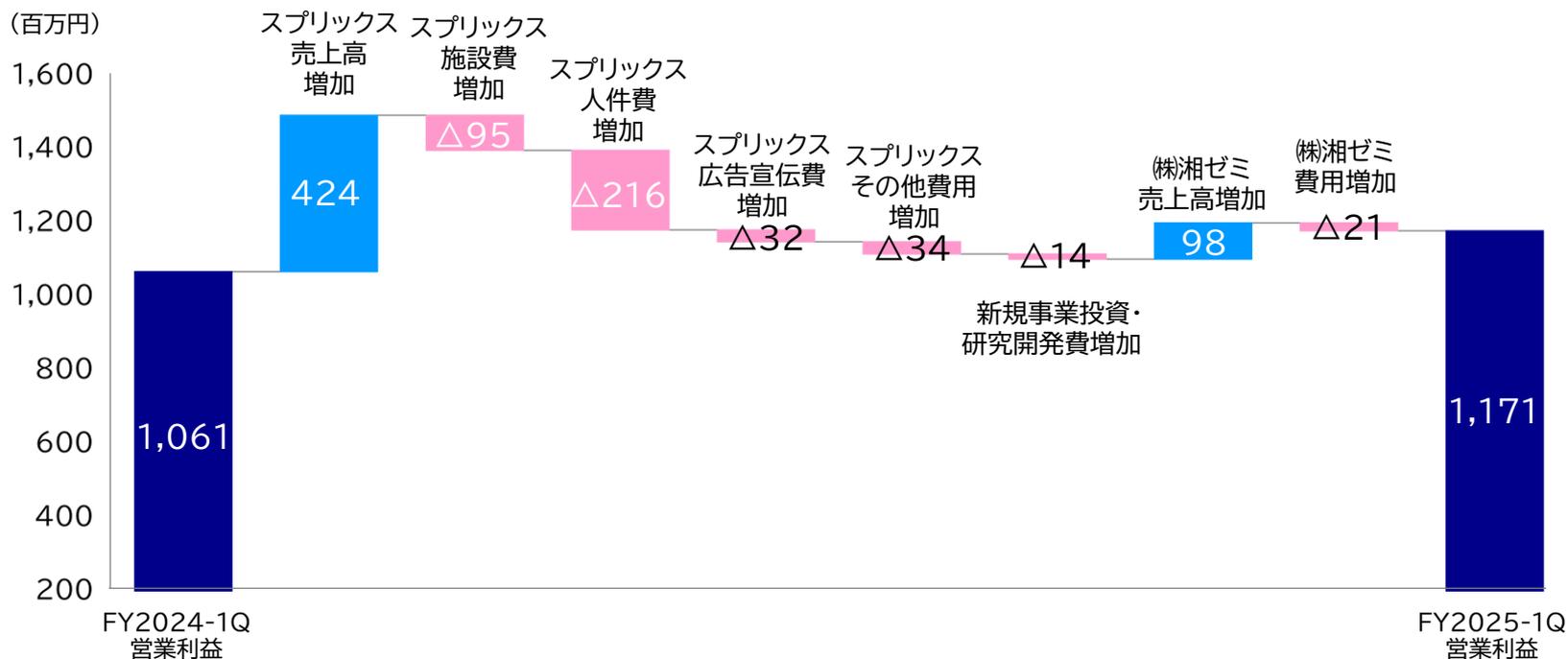
- スプリックス、(株)湘南ゼミナール共に売上高の増加に加え、(株)湘南ゼミナールの本社移転に伴う減価償却費の減少、FY2020に(株)湘南ゼミナールがグループインした際に発生した顧客関連資産の一部償却終了による影響、及び計画通りの支出計上により営業利益は増加



(注)・(株)湘南ゼミナールは2021 2Qより連結対象
・2024 1Qから、(株)湘南ゼミナール運営の森塾はスプリックスが継承

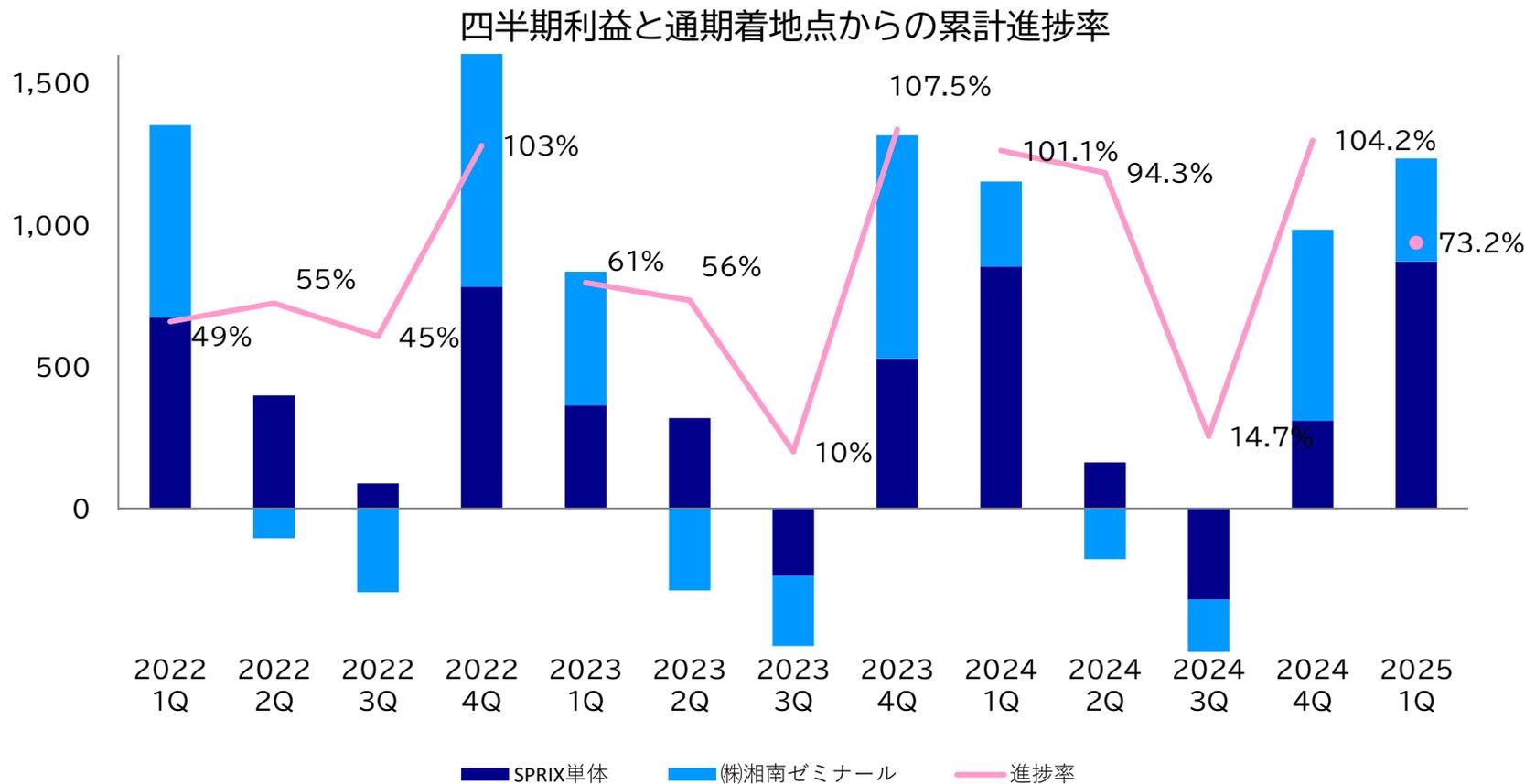
FY2025-1Q- 営業利益の差異分析(前年同期比)

- スプリックス、(株)湘南ゼミナール共に売上高の増加に加え、(株)湘南ゼミナールの本社移転に伴う減価償却費の減少、FY2020に(株)湘南ゼミナールがグループインした際に発生した顧客関連資産の一部償却終了による影響、及び計画通りの支出計上により営業利益は増加



FY2025-1Q- 営業利益(進捗率の季節性)

- 学習塾事業の特性により、当社は1Q(10-12月)、4Q(7-9月)に利益偏重



FY2025-1Q- セグメント別業績

(単位:百万円)

セグメント	売上高	前同比	営業利益	前同比	要因・トピックス
森塾	4,702	+366 (+8.5%)	1,576	+79 (+5.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 新規開校、生徒数の堅調推移により業績は好調 関西への開校も順調であり今後も計画的な新規開校により業績拡大していく見込
湘南ゼミナール	2,508	+48 (+2.0%)	483	+24 (+5.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 小学生向けのコンテンツ拡充等の影響により生徒1人当たりの単価アップにより売上高は増加 コンテンツ拡充およびマーケティング強化により総合進学コースの小学生から中学2年生までの生徒数が増加
河合塾マナビス	769	+48 (+6.5%)	37	+10 (+37.7%)	<ul style="list-style-type: none"> KPI管理およびオペレーションの徹底強化により、全学年の生徒数が増加し、売上高が増加 新規開校は夏以降を想定
その他	727	+62 (+9.3%)	△363	△115 (-%)	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な採用・研究開発、投資の実施に加え、人件費の上昇等により営業利益は減少

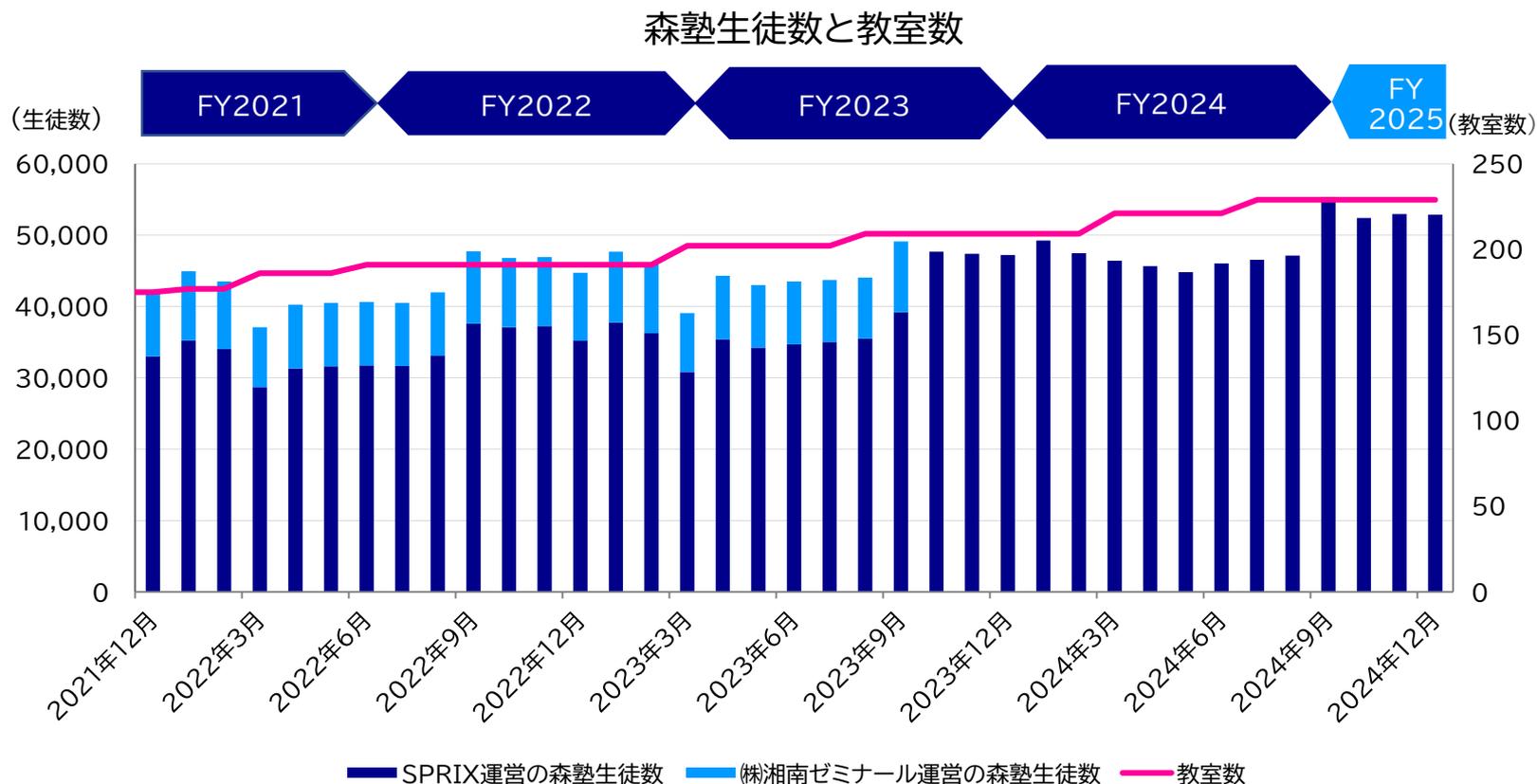
(注)FY2024より湘南ゼミナール運営の森塾を承継した影響により、湘南ゼミナール、河合塾マナビスに対するのれん償却額を各セグメント費用として計上

セグメント別 生徒数・教室数の推移(対前年比)

セグメント		FY2024 1Q	FY2025 1Q	増減数	増減率
森塾	生徒数	47,193	52,839	+5,646	+12.0%
	教室数	209	229	+20	+9.6%
湘南ゼミナール	生徒数	19,884	19,719	△165	△0.8%
	教室数	196	203	+7	+3.6%
河合塾マナビス	生徒数	4,959	5,380	+421	+8.5%
	教室数	50	51	+1	+2.0%

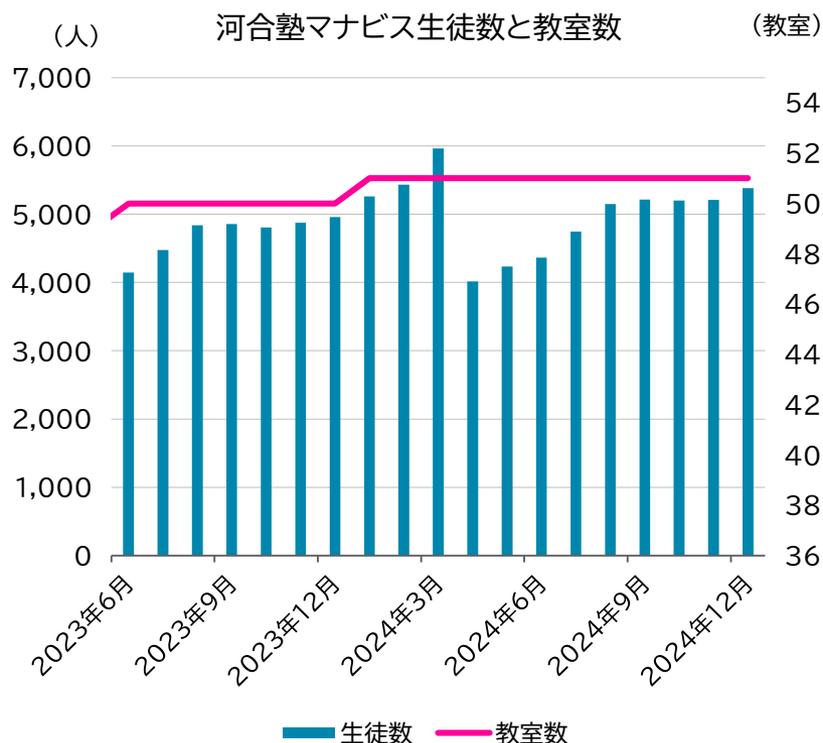
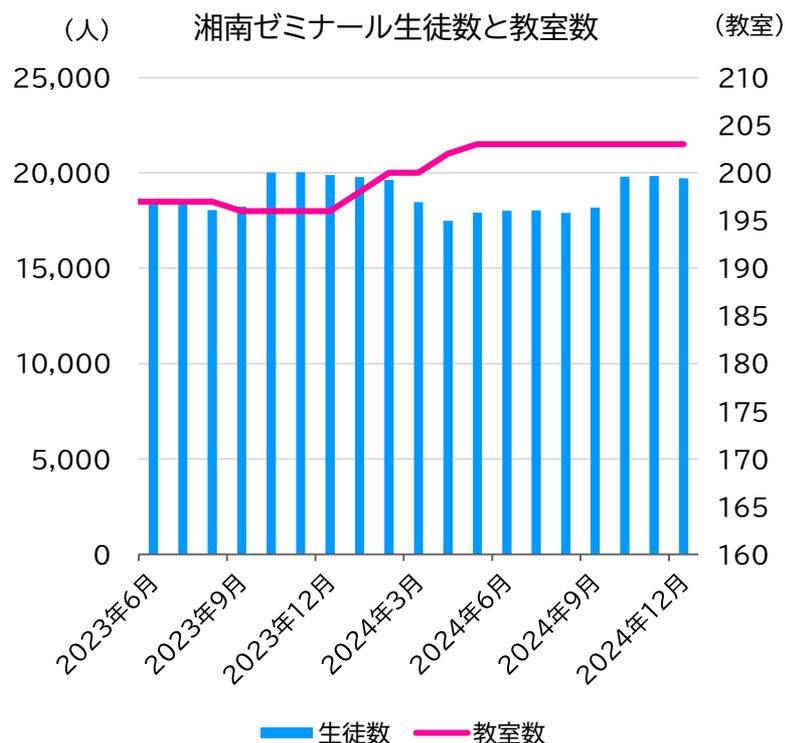
(参考)森塾の合計生徒数と教室数

- FY2025 1Q末の教室数は229教室、生徒数は52,839人
- 2023年10月から、(株)湘南ゼミナール運営の森塾はスプリックスが継承



(参考)湘南ゼミナールと河合塾マナビスの生徒数と教室数

- 湘南ゼミナールはコンテンツ拡充およびマーケティング強化により総合進学コースの小学生から中学2年生までの生徒数が増加し、長期的な目線での施策が好調
- 河合塾マナビスは全学年の生徒数が増加し、堅調な推移



FY2025-1Q- セグメント別トピックス

森塾	FY2025は20教室を開校予定	
湘南ゼミナール	FY2025は4教室を開校予定	
河合塾マナビス	FY2025は2教室を開校予定	
自立学習RED	2024年12月末時点で220教室 埼玉県戸田市の「市長の全力！まち取材」で紹介 New!	
そら塾	2024年12月にオンライン授業に最適化した新機能を開発 利便性アップに伴い顧客満足度が向上し、退塾率が減少 New!	
その他	テキスト販売等 2025年度フォレストシリーズの一部内容改定を実施 New! 引き続き、河合塾との協業による高校生向け教材の開発を促進 推薦入試への対応・ラインナップの拡充	
(教育関連サービス)	東京ダンスヴィレッジ 2024年11月に多店舗化によるニーズに合わせ、校舎間のレッスン振替システムを開発 New!	
基礎学力事業	2024年10月にフィリピン教育相とMOUを締結 New! 2024年11月にTOFAS第14回検定を実施 New! 各国との協力体制構築や有料受験の開始等、マネタイズに向けた活動継続中	  
その他	2024年10月に小中学生向けエンタメ型プログラミング教材 「デジタネ」とプログラミング能力検定の連携が決定 New!	 

3. 參考資料

SPRIX

SPRIXが考えるサステナビリティ①

ESGのS(社会)の分野に重点的に取り組む

TOFAS DOJO

SPRIX
LEARNING

自立学習 RED

そら塾

先進の研究内容や
テクノロジーで
世界の教育格差解消

個別指導の
オンライン化で
地域格差解消

森塾

安心の授業料と
質の高い指導の両立で
経済格差解消



教育格差の解消に
向けた取り組み

森塾

科学的なアプローチによる
塾用教材で
質の高い教育を安定的に提供



最新テクノロジーを駆使して
先生の働きやすさと
女性活躍に貢献

プログラミング学習・
検定事業でIT教育の
格差解消

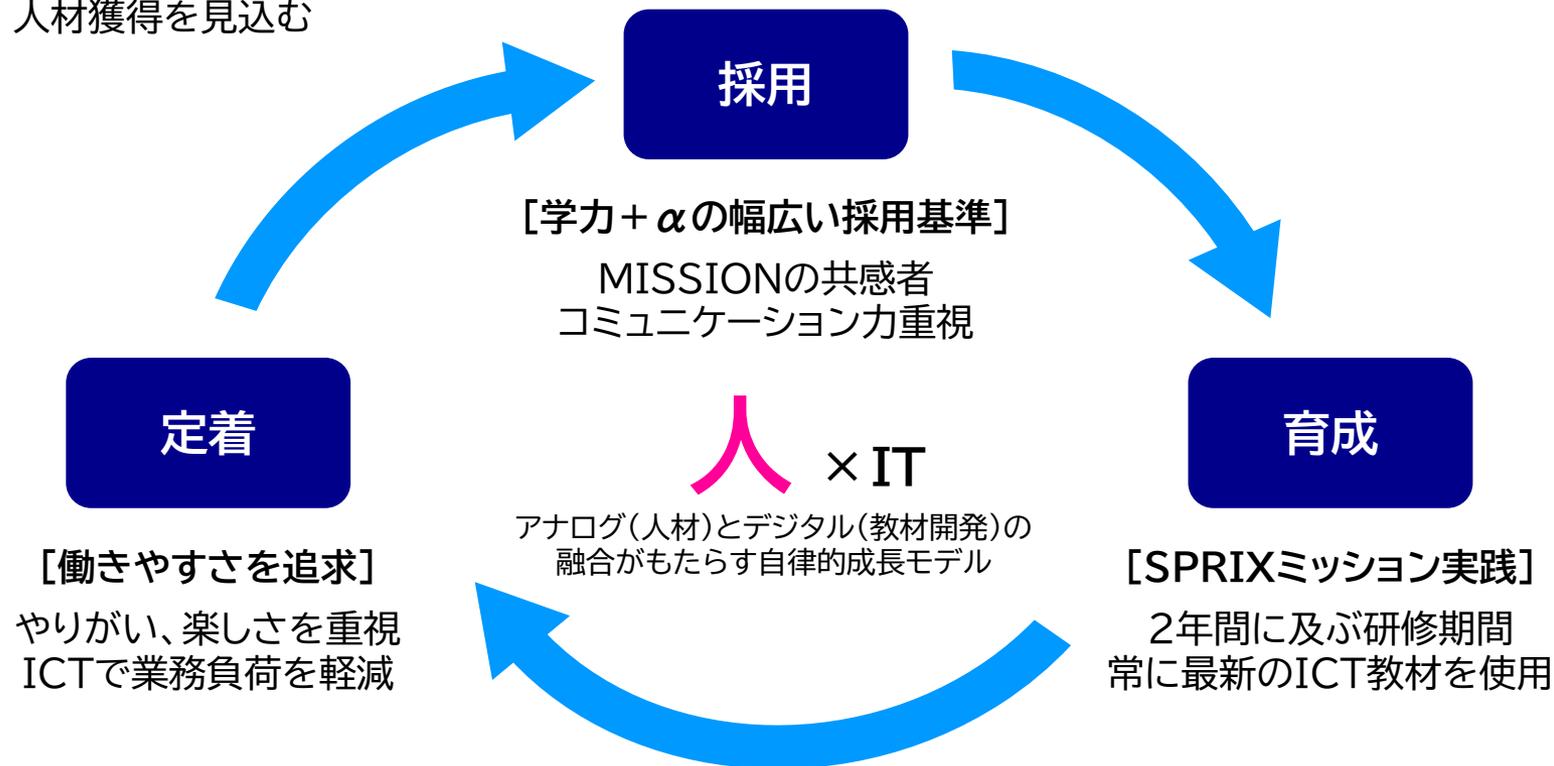
自立学習 RED

キョレオ
QUREO
プログラミング教室

SPRIXが考えるサステナビリティ②

人的資本投資はビジネスモデルの要

- 「教務の仕組み化」で、講師の採用・育成・定着の負担を軽減
- 「やりがい」「コミュニケーション力」を重視することで講師の採用枠を広げる
- 「個別指導で業界シェアNo.1になる」「塾業界をあこがれの職業にする」ことでさらなる人材獲得を見込む



データで見るSPRIX (ファクトシート)

(単位:百万円)	FY2020 (連結)	FY2021 (連結)	FY2022 (連結)	FY2023 (連結)	FY2024 (連結)	FY2025-1Q (連結)
売上高	11,843	25,901	29,352	30,363	31,860	8,707
営業利益	1,787	2,437	2,778	1,318	1,093	1,171
EBITDA	1,937	3,385	3,938	2,521	2,249	1,404
総資産	11,485	19,277	19,574	20,143	20,448	21,280
純資産	8,091	8,864	9,774	9,706	9,562	9,977
現金及び現金同等物の期末残高	7,308	6,163	5,935	6,007	5,359	6,088
自己資本比率(%)	70.2	45.9	49.8	48.0	46.5	46.7
売上高営業利益率(%)	15.0	9.4	9.5	4.3	3.4	13.5
EBITDAマージン比率(%)	16.3	13.0	13.4	8.3	7.1	16.1

グループ会社概要



株式会社スプリックス

個別指導型学習塾、テキスト販売、
基礎学力検定TOFAS運営など

- 小・中・高校生が対象の個別指導塾
- 全国に200教室以上を展開
- 基礎学力検定TOFASを世界中で展開



株式会社湘南ゼミナール

一斉指導を中心とする進学塾
湘南ゼミナール、河合塾マナビスの運営

- 小・中・高校生が対象の進学塾
- 公立中高一貫校の中学・大学受験指導
- 神奈川県を中心に首都圏に教室を展開



株式会社プログラミング総合研究所

株式会社サイバーエージェントとの
合併会社

- 日本最大級のプログラミング検定
- 「プログラミング能力検定」の開発と運営
- プログラミング教育の為の評価指標提供



株式会社キュレオ

株式会社CA Tech Kidsとの
合併会社

- 全国の学習塾や習いごとの事業者向け
- プログラミング教材の提供と授業支援
- 「QUREOプログラミング教室」を展開



株式会社和陽日本語学院

株式会社スプリックスの
100%子会社

- (株)ひのき会から日本語学校事業を譲受け
- 中国人留学生を中心に海外からの留学生向け
- 日本語教育と進学指導を実施



株式会社イングリッシュスクエア

株式会社湘南ゼミナールの
100%子会社

- 小・中・高校生が対象の英語指導塾
- 大人向けの英会話コースも展開
- 30年以上の英語教育指導ノウハウ